



Subaru

## 男声合唱団

ニュースNo.403

'13. 2.

2. 15

## 新譜「母なるヴォルガを下りて」、「憎しみの中から」をレッスン

□ 2月15（金）は奥村さんの体操に始まり、檀先生のヴォイストレーニングと指揮、森さんのピアノで新譜「母なるヴォルガを下りて」と「憎しみの中から」をレッスンしました。参加は、目の手術から無事復帰の橋本さんを加え、30名でした。

□ 2月17（日）は岡邑さんの体操と檀先生のヴォイストレーニングに始まり、本並先生の指揮、森さんのピアノで「母なるヴォルガを下りて」、「美しく碧きドナウ」、「降りつむ」、「ああ夜よ（ソロ伊藤さん）」、「音戸の舟唄」と「美しく碧きドナウ」をたっぷりレッスンしました。参加は、全28名でした。

□ 金田実行委員長のあいさつ、日うた実行委員会からのとりくみ報告について、皮切りに、檀先生の鍛えられた歌声のソロ、「落葉松」と「星よお前は」が、「1.17檀知生ソロ・東北支援コンサート」の成功と、震災間もなくから現地に分け入っての歌を通じて絆を広げる支援活動の報告とともに披露され、一同の共感と称賛を呼び起きました。

□ 各サークルが活動報告を交えた挨拶のあと、一曲を披露しました。昂は千秋団長の報告・挨拶のあと、「おらあこごがいい」を檀先生指揮、森さんのピアノで歌いました。ステージは全14名、久しぶりに林さんが客席で参加でした。

□ 大阪保母サークルなのはなの久原さんから、大阪市労組が原告団として闘っている「思想裁判」について誠心誠意の訴えと報告があり、原告団55名のうち43名が保母であり、中心となって全国に支援を呼びかける活動を続けていること、そのなかで生まれたうた、「こころひとつに」の誕生のいきさつ（「うたごえ新聞」2/4一面に詳しい記事が載っています）などが報告され、自ら歌唱指導していただき、一同共感と共に歌いました。

□ 最後に、乾さんのリードで「みんなでうたう会」を行い、心ひとつに交流会をとじました。

No.401 (1/2)

## 祭典・制作協力金

昂・1/30現在 331,000円です。

(昂目標 600,000円)

2月中に目標を達成したい。

(増加分は立川さんの拡大)

西島さんの 切り撮ってみる

No.401 (2/2)